登録有形文化財 宮城野納豆製造所 見学会&交流会 開催報告

開催日 2026 年 2 月 27 日

本事業は、「宮城野原案内人の会」との共催で、毎年 2 月に開催しています。毎回同じお話しなのに人気があり、今回もリピーターで参加された方がおいででした。

宮城野原案内人の会の活動がたくさんの皆さんに認知されてきたこともあって、宮城野区の近隣の方がたのみならず、広く仙台市全域から 16 名の参加者が有りました。あいにくの小雨模様にもかかわらず、定刻にお集まり下さり、敷地内に在る 8 棟の登録文化財や、物置だった 90 年前の建物を高断熱高気密補強改修して利活用されている「となりのえんがわ」についてスライドを見ながら安井の建築の話を聴いてもらいました。

(有)宮城野納豆製造所会長である、三浦晴美様の創立者で祖父である三浦二郎氏と二代目社長の父である三浦一夫氏の納豆菌製造エピソードなど貴重なお話を頂きました。

「(有)宮城野納豆製造所工場群屋根改修工事」、「となりのえんがわ用途変更工事」共に、
設計監理：安井妙子あとりえ　施工：株式会社阿部和工務店　　文責：主幹研究員 安井妙子

三浦会長のおじい様に関するお話しを聞く皆さん
写真撮影 6 点共：中村圭助

建物群や、小屋組みに使われている木造トラス構造の力の伝わり方などを説明する安井

雨の中、文化庁からもらった登録文化財を示す真鍮のプレートをのぞき込む皆さん

↑納豆菌の製造エリアの窓は FIX で解放されず、常時給気や排気（屋根上に写る）に配慮した装置を 90 年も前に作っていた先進性を説明する安井

メインは内部製造部の見学です。大きな釜や清潔に掃除された床に見学者も身が引き締まります

←三浦会長に引率される皆さん。人気のトロッコのレールのある廊下。2 班に分かれて 8 人なのにみんなで群がって踏みしめています